

# GROWTH

後援会通信「グロース」春号 2005 Vol.6  
—大学と家庭をむすぶ— Linking the University with Families April

学部仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロース」は、大学の近況を後援会会員であるご父母の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、ご父母の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



**GROWTH** (グロース) の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようにという期待が本誌に込められています。

## CONTENTS

後援会会長挨拶	1
学長挨拶	2
平成17年度後援会総会のお知らせ	3
平成17年度地区後援会のお知らせ	4
平成17年度年間スケジュール	5
キャンパス・スケッチ	6
キャンパス・ニュース	7
キャンパス・ボイス	8
教育と研究の世界	9
同窓生を訪ねて	11
学務部より	12
学生部より	13
就職部より	14



## 後援会会長 挨拶

### 村 松 巖

株式会社七十七銀行代表取締役頭取、同銀行代表取締役会長、社団法人全国地方銀行協会副会長、仙台商工会議所会頭、日本商工会議所副会頭、東北六県商工会議所連合会会長、東北経済連合会副会長などを歴任。現在、株式会社七十七銀行相談役などを務める。

暖かく優しい日差しが注ぎ、草木の芽ぐむ季節となりました。在学生のご父母の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本後援会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今春も、東北学院大学後援会の会員として、新たに3,000余名の新生のご父母の皆さまをお迎えいたしました。新生のご父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、本後援会は、在学生のご父母を会員として、ご子女の円滑な学生生活と大学の充実・発展に寄与するため、昭和24(1949)年に設立され、各種の活動を展開してまいりました。中でも、「後援会総会」と「地区後援会」は、ご父母の皆さまと大学の教職員が直接交流できる場として大変好評をいただいております。また、後援会では、皆さまからの会費をもとに学生の課外活動に対する補助や奨学金への助成を通して、ご子女の学生生活の支援を行っております。近年において、不安定な経済情勢により家計状況が急変し、奨学金を希望する学生が増えていると聞いております。大学では、貸付奨学金制度を導入し「緊急貸与奨学金」を交付しておりますが、後援会では支援活動の一つとしてその「緊急貸与奨学金」への助成を行っております。

このように、後援会は大学と家庭の連携を密接にしながら活

動しており、平成17(2005)年度も後援会総会と地区後援会を実施してまいります。特に後援会総会では、大学の協力を得て、「教員による公開講座」「バイオルガンコンサート」「学科別懇談会」「学務部・学生部・就職部による相談コーナー」など、多彩なプログラムを用意しております。昨年は、約1,500名のご父母の方々に後援会総会と大学開放プログラムにご参加いただきましたが、今年もより多くのご父母の皆さまが大学の教職員と意見を交わすことができ、有意義なひとときを過ごしていただきたいと願っております。

地区後援会については、北海道札幌市から東京都までの全29地区で開催いたします。総会と同様に、ご父母の皆さまと交流が図られますよう各地区に大学から教職員を派遣していただき、大学の教育方針の説明や近況の報告、教員による公開講座、学務部・学生部・就職部による説明や個別面談などを実施いたします。後援会といたしましては、親元を離れて学生生活を送っているご子女の成績や就職問題などについて、少しでもご父母の方々の悩みや不安の解消につながればと願っている次第です。

最後になりますが、会員の皆さまには、今後とも本後援会の活動に積極的にご参加いただき、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 後援会役員・顧問・参与・事務局長・事務局員名簿 平成17年4月1日現在

会 長	村 松 巖	(仙 台 市)
副 会 長	江 馬 成 夫	〃
〃	三 島 卓 郎	〃
庶務担当理事	後 藤 久 幸	〃
会計担当理事	高 橋 祥 允	〃
理 事	浅 野 ひとみ	〃
〃	阿 見 孝 雄	〃

理 事	壱 岐 洋 治	(仙 台 市)
〃	伊 東 知 男	〃
〃	寒 江 満 子	〃
〃	佐 久 間 敬 子	〃
〃	高 橋 俊 宏	〃
〃	平 野 貞 夫	〃
〃	堀 田 正 昭	〃
〃	柴 田 仁 市 郎	(塩 釜 市)
〃	古 関 英 一	(多 賀 城 市)
〃	門 脇 利 勝	(石 巻 市)
〃	坂 本 憲 一	(気 仙 沼 市)

理 事	桂 久	(札 幌 市)
〃	成 田 智 典	(青 森 市)
〃	高 橋 秀 彦	(秋 田 市)
〃	深 澤 禎 彦	(横 手 市)
〃	工 藤 敏 納	(盛 岡 市)
〃	大 友 敏 男	(宮 古 市)
〃	及 川 和 夫	(北 上 市)
〃	浦 島 康 弘	(大 船 渡 市)
〃	笹 島 敬 史	(新 庄 市)
〃	佐 島 清 人	(山 形 市)
〃	只 野 裕 一	(相 馬 市)



## 学長 挨拶

### 星 宮 望

東北学院中学・高等学校卒業。東北大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了。工学博士。北海道大学教授、東北大学教授、東北大学副総長などを歴任し、平成16年3月東北大学を定年退官。同年4月より東北学院大学長に就任。東北大学名誉教授。専門は電子工学。

陽春の候、在学生のご父母の皆さまには、ますますご壮健のことと拝察申し上げます。常日頃、本学の教育・研究に対して深くご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

東北学院は、1886年(明治19年)に教師2名と生徒6名からはじまり、お蔭様を持ちまして今年で創立119周年を迎えます。その間、1949年(昭和24年)には学校教育法の改正に伴い東北学院専門学校が新制大学に昇格し、現行の東北学院大学がスタートいたしました。当時は文経学部の単一学部で英文学科と経済学科の2学科だけでしたが、現在では5学部14学科を擁し、東北・北海道地区を代表する総合私立大学に発展するまでになりました。

現在、東北学院大学には学部学生が約12,000名と大学院生が約250名在籍し、学問研究の研鑽と課外活動にそれぞれ励んでおります。また、昨年4月には大学院法務研究科法実務専攻(法科大学院)が開学し、順調な歩みを進めております。本学では高度な専門知識と幅広い柔軟な思考力を備えた“町弁護士”の養成を目指し、優秀で経験豊富な教員スタッフを配置したほか「法科大学院・総合研究棟」を建設するなど充実した学習環境も整備いたしました。創立以来、本学はプロテスタント・キリスト教に基づく人間形成を建学の精神とし、個人の尊厳を重視する教育の伝統のもとに聖書の隣人愛と奉仕の教えを大切にしてきました。この建学の精神は145,000余名の同窓生にも引き継がれ、専門

の知識や技術を活かしながら、それぞれの分野で「地の塩」「世の光」として活躍しているところからもお分かりいただけると思います。

このように、東北学院大学は学生の広い学習や色々な可能性に応える教育・研究体制を整えていますが、後援会からのご援助が、これらの学生の多様な学生生活と個性豊かな人格形成に大いに役立っていることは申し上げるまでもございません。本学の後援会は、今から56年前の昭和24年に設置され、大学院生を含む本学で学ぶ全ての学生諸君の学生生活を支えて参りました。大学としても学生諸君が充実した学生生活を送れるよう各種支援体制を整えサポートしておりますが、何よりも後援会からのご援助に感謝し、今後ともお願い申し上げます。

いま世界は、社会、政治、経済のあらゆる領域で急激に変化しています。本学では、その変化し続ける社会に対応できる人材の育成に努めますとともに、「絶えず変革されるべき大学」をモットーに常に時代の要請に応える大学へと日々改革に努めております。これからも本学独自の伝統を重んじつつ、21世紀に活躍する学生の皆さんに幅広い学びの場を提供できるよう、教職員一人ひとりが努力を惜しまない所存です。そして困難な時代だからこそ、本学学生がその掛け替えのない学生時代に自らの個性を磨き、人間として大きく成長することを心から願っております。

理事	佐々木 信之 (福島市)	参 与	平河内 健治
〃	石田 博文 (郡山市)	〃	遠藤 和朗
〃	福井 文夫 (新潟市)	〃	斎藤 誠
監事	天江 皓一 (仙台市)	〃	遠藤 銀朗
〃	伊東 幸三	〃	佐々木 俊三
〃	白木 進	〃	佐々木 哲夫
顧問	赤澤 昭三	〃	高橋 征士
〃	倉松 功	〃	井上 義比古
〃	星 宮 望	〃	小田 三千子
参 与	関 谷 登	〃	飛田 善雄
〃	大塚 浩司	〃	樋渡 滋

参 与	高橋 彌穂	事務局員	荒 孝 夫
〃	遠藤 恵子	〃	桔 梗 元 子
〃	高木 龍一	〃	今 野 野 典
事務局長	菅野 健男	〃	小野寺 芳 繁
事務局員	高橋 嘉男	〃	石 上 貴
〃	相澤 義光		
〃	井上 捷二		
〃	佐々木 文彦		
〃	鈴木 孝郎		
〃	佐藤 光 寛		
〃	関		

# 平成17年度東北学院大学後援会総会開催のお知らせ

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、教員による公開講座やパイプオルガンコンサート、学科別懇談会や個別面談などの「大学開放プログラム」を多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。ご父母の皆さまのご参加をお待ちしております。

## ○日時:

平成17年5月21日(土)

総会 10時40分～12時

大学開放プログラム 10時～17時

## ○会場:

東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)

時間	開催内容	
9:00		
10:00	受付 総合案内所 9:00～14:00 (1号館外)	
	大学礼拝 10:00～10:30 (礼拝堂)	
11:00	後援会総会 10:40～12:00 (礼拝堂) 1.開会宣言 2.聖書朗読並びに祈禱 3.挨拶 4.議事 (1)平成16年度後援会庶務報告 (2)平成16年度後援会収支決算報告 (3)会計監査報告 (4)平成17年度後援会事業計画(案) (5)平成17年度後援会収支予算(案) (6)その他 5.閉会宣言 *学務部・学生部・就職部からの説明	施設開放 10:40～16:00 (1)施設見学 就職資料室 図書館 情報処理センター オーディオ・ビジュアルセンター カウンセリング・センター (2)課外活動見学 体育館 グラウンド (3)大学紹介 ビデオ上映 オーディオ・ビジュアルセンター ※自由に見学いただけます。
	昼食 11:00～14:30 (学生食堂) ※昼食券を配付いたしますのでご利用ください。	
12:00		
13:00	本学教員による公開講座 12:20～13:00 (2号館5階257教室) 講師 遠藤和朗 経済学部長	個別相談コーナー 12:30～16:00 (2号館各教室) 学務部 ・科目登録 ・成績表の見方 ・進級及び卒業 ・各種資格 学生部 ・奨学金 ・課外活動 ・アルバイト ・健康管理 就職部 ・就職活動 ・求人状況 ・教員・公務員への試験対策と準備
	パイプオルガンコンサート 13:10～13:40 (礼拝堂) 演奏者 今井奈緒子 大学オルガニスト	
14:00	学科別懇談会 13:50～14:50 (2号館各教室) ・学科の特色や教育内容 ・質疑応答 ・教員との自由懇談(希望者のみ)	
	学生の就職を考えるセミナー 14:50～16:00 (2号館2階226教室) 講師:小島貴子 (キャリアカウンセラー)	
15:00	多賀城キャンパス見学会(希望者) ※希望者は14:55までに掲示板前にお集まりください。 15:00 泉キャンパス出発(無料送迎)ス 15:30～17:00 多賀城キャンパス見学 17:30 泉キャンパス到着(無料送迎)ス	
16:00		
17:30		



昨年度の総会の様子

# 平成17年度東北学院大学地区後援会開催のお知らせ

地区後援会とは、主に大学の夏休み期間を利用して、北は北海道札幌市から南は東京都までの全29地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女と一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域のご父母の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。

## ○実施期間

平成17年7月16日(土)、  
 8月18日(木)～20日(土)、  
 8月25日(木)～27日(土)、  
 9月1日(木)～3日(土)、  
 9月8日(木)～10日(土)

## ○実施会場

全29地区(下記の表をご参照ください。)

## ○プログラム

学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、教員による公開講座、昼食、個別面談など



昨年度の盛岡会場の様子

## 開催一覧

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月中旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。

※一覧表にある時間は全体会の開催時間です。個別面談を希望される場合の最終終了時間は、八戸地区が16時頃、青森・秋田・盛岡・山形・福島・郡山地区が15時頃、そのほかの地区は14時頃となります。なお、個別面談は先着順となります。

地域	開催地区	期日	時間	会場	地域	開催地区	期日	時間	会場
北海道	札幌	9月10日(土)	10時～13時	京王プラザホテル札幌	山形	山形	7月16日(土)	10時～13時	ホテルキャッスル
	函館	9月9日(金)	//	函館ハーバービューホテル		新庄	9月2日(金)	//	ニューグランドホテル
青森	青森	8月27日(土)	//	青森国際ホテル	米沢	9月3日(土)	//	東京第一ホテル米沢	
	弘前	8月26日(金)	//	シティ弘前ホテル	酒田	9月10日(土)	//	ル・ポットフー	
八戸	8月27日(土)	11時～14時	八戸グランドホテル	鶴岡	9月9日(金)	//	東京第一ホテル鶴岡		
岩手	盛岡	8月20日(土)	10時～13時	ホテルメトロポリタン盛岡	福島	福島	7月16日(土)	//	福島ビューホテル
	北上	9月8日(木)	//	ホテルシティプラザ北上		郡山	8月20日(土)	//	郡山ビューホテルアネックス
一関	9月9日(金)	//	ホテルサンルート一関	会津若松	8月26日(金)	//	会津若松ワシントンホテル		
宮古	9月1日(木)	//	浄土ヶ浜パークホテル	原町	8月20日(土)	//	ロイヤルホテル丸屋		
釜石	9月2日(金)	//	釜石ベイシティホテル	いわき	8月18日(木)	//	いわきワシントンホテル		
大船渡	9月3日(土)	//	大船渡プラザホテル	新潟	新潟	8月27日(土)	//	新潟東急イン	
宮城	気仙沼	9月10日(土)	//	サンマリン気仙沼観洋	茨城	水戸	8月19日(金)	//	水戸京成ホテル
秋田	秋田	7月16日(土)	//	秋田ビューホテル	栃木	宇都宮	9月3日(土)	//	ホテルサンシャイン
	大館	8月25日(木)	//	秋北ホテル	東京	東京	9月2日(金)	//	東京ガーデンパレス
横手	9月1日(木)	//	横手セントラルホテル						

# 平成17年度東北学院大学年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。ご父母の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。(※日程は変更となる場合もあります。)

## 平成17年

### 【前期】

4月	1日(金)成績発表(工学部の3・4年)
	4日(月)成績発表(文・経・法・教・二部の2・4年、工学部の2年)
	5日(火)入学式
	6日(水)新入生オリエンテーション(～11日)
	12日(火)授業開始
	16日(土)スプリング・カレッジ
	19日(火)科目登録届提出(工学部の2・4年)
	20日(水)科目登録届提出(文・経・法・教・二部の全学年、工学部の1・3年)
	26日(火)科目登録届確認(工学部の全学年)
	27日(水)科目登録届確認(文・経・法・教・二部の2・4年、工学部の全学年)
	28日(木)科目登録届確認(文・経・法・教・二部の1・3年)
	5月
15日(日)創立記念日	
21日(土)後援会総会	
	下旬 対青山学院大学総合定期戦
6月	上旬 対北海学園大学総合定期戦
	23日(木)大学院特別選考入学試験
7月	11日(月)授業終了(文・経・法・教・二部)
	12日(火)補講(文・経・法・教・二部、～16日)
	16日(土)授業終了(工学部)
	19日(火)前期試験(文・経・法・教・二部、～25日)
	19日(火)振替授業・集中講義・補講(工学部、～25日)
	26日(火)夏休み開始(文・経・法・教・二部、～9月10日)
	26日(火)集中講義(文・経・法・教・二部、～30日)
	26日(火)前期試験(工学部、～8月3日)
26日(火)サマー・カレッジⅠ(～28日)	
8月	4日(木)夏休み開始(工学部、～9月10日)
	4日(木)サマー・カレッジⅡ(～5日)
	6日(土)オープンキャンパス(泉キャンパス・多賀城キャンパス)
	7日(日)オープンキャンパス(多賀城キャンパス)
	上旬 対青山学院大学二部交流定期戦
	上旬 対北海学園大学二部総合定期戦
9月	5日(月)集中講義・補講(全学部、～10日)
	10日(土)夏休み終了

### 【後期】

9月	12日(月)授業開始
	29日(木)大学院秋季入学試験(前期課程)
	30日(金)9月期卒業式
10月	中旬 大学祭、ホームカミングデー〔同窓祭〕
11月	5日(土)法科大学院A日程入学試験(～6日)
12月	2日(金)泉キャンパスクリスマス
	14日(水)授業終了(文・経・法・教・二部)
	14日(水)大学クリスマス(土樋キャンパス・泉キャンパス)
	15日(木)冬休み開始(文・経・法・教・二部、～1月5日)
	15日(木)集中講義・補講(文・経・法・教・二部、～21日)
	15日(木)授業終了(工学部)
	15日(木)大学クリスマス(多賀城キャンパス)
	16日(金)冬休み開始(工学部、～1月5日)
	16日(金)振替授業・集中講義・補講(工学部、～21日)
	16日(金)公開東北学院クリスマス

## 平成18年

1月	5日(木)冬休み終了
	6日(金)授業開始
	16日(月)授業終了
	17日(火)後期試験(全学部、～25日)
	21日(土)大学入試センター試験(～22日)
2月	1日(水)一般入学試験前期日程(～4日)
	4日(土)法科大学院B日程入学試験(～5日)
	中旬 卒業生発表
	22日(水)大学院春季入学試験(前期課程)
	23日(木)大学院春季入学試験(後期課程)
3月	4日(土)法科大学院C日程入学試験(～5日)
	7日(火)一般入学試験後期課程
	23日(木)卒業式

# Campus Sketch

キャンパス・スケッチ

## Campus Sketch

東北学院大学には、仙台市中心部の広瀬川を背にした土樋キャンパス、史跡の町多賀城市にある多賀城キャンパス、仙台市北部の丘陵地にある泉キャンパスの3つのキャンパスがあります。それぞれに個性あふれる雰囲気を持つキャンパスの様子を、写真を通して皆さまにお伝えいたします。



土 樋  
Tsuchitoi



多 賀 城  
Tagajo



泉  
Izumi

## 東北学院中学・高等学校が移転

この4月に、東北学院中学・高等学校が、長年にわたり「学院生」を育ててきた仙台市青葉区一番町の校地から、JR仙石線「小鶴新田駅」より徒歩10分の仙台市宮城野区小鶴の新校地に移転しました。

新校地は、これまでの校地の約6倍となる97,405m<sup>2</sup>という広大な敷地を有し、その中に、礼拝堂、教室・管理棟、体育館、陸上競技場、サッカー場、野球場、テニスコートなどが機能的に配置され、それらはすべて大学と同等の規模と内容を誇っています。特に注目すべき施設として、IT技術の習得のためのコンピュータ室やLL教室などの特別教室で、ここでは次代を担う人材の育成が行われています。これらの充実した環境により、中学・高等学校のさらなる飛躍と発展が期待されています。すでに若さあふれる声が、真新しい校舎に響きわたっています。

## 星孝典さんがプロ野球選手に

本誌「グロース」の前号でインタビューをした学生の一人、星孝典さんが、プロ野球読売巨人軍に入団しました。前号のインタビューの中で、「卒業後も野球を続ける方向でしっかり考えたいと思っています。」と述べたとおり、その夢が実現したのです。

星さんは、法学部で学びながら硬式野球部に所属し、強肩好打の捕手として活躍しました。本学の学生が現役でプロ野球団へ入団したのは初めてのことです。「巨人の星」として、また、東北学院大学の卒業生として、今後の成長と活躍を願っております。

## 工学部 —創設以来の大改革が始まる—

工学部は、平成18年度に新しい工学部になる予定です。工学部改組の骨子の第一は、現工学部の教育・研究組織を21世紀の人類社会から求められる人材育成と科学技術研究開発の要請に十分に応えることのできる組織にすること。第二は、新しい教育・研究を通して、これまで以上に社会的、地域的及び国際的な貢献をすることです。具体的には、21世紀の科学技術を重点的に支えるライフサイエンス分野の教育・研究の要素を、改組後の各構成学科に包含することにしました。機械創成工学科は、ロボットなどを研究する知能工学分野とエネルギー分野を強化し、「機械知能工学科」に変わります。電気情報工学科の学科名は同じですが、情報通信工学を中心にして、電気工学、情報工学をさらに強化します。物理情報工学科は、教育・研究内容を大幅に見直し、ナノテクノロジー・材料分野、デバイス工学、電子計測工学などを包含する「電子工学科」に変わります。環境土木工学科は、従来の土木工学、環境工学に加えて、建設工学、都市環境工学などを包含する学科に改組し、「環境建設工学科」に変わります。

以上のように、平成18年度の改組は、総合科学技術会議が理工系教育として21世紀の科学技術の進展を支える重点分野として掲げている(1)ライフサイエンス、(2)情報通信、(3)ナノテクノロジー・材料、(4)環境の4つの学術分野を新工学部の基幹となる教育・研究分野として取り入れることを目的として、その方針に沿う学部改組として位置づけられるものです。

この大改革は、工学部が21世紀の日本にふさわしい高等教育機関の質的改革と普及の担い手となり、持続的発展の基盤を支える最重要、かつ、不可欠な知的創造産業の中核になる第一歩であります。今後、工学部はさらなる改革を実行し、世界に競合し得る大学を目指して壮大な挑戦に取り組む予定です。

※東北学院大学広報誌「OYPAHOΣ (ウーラノス)」第18号より転載。





### 憧れのロボット技術研究を現実に!

物理情報工学科 2年 (宮城県石巻西高校出身)

**坂本 晃 浩**さん

小学生の頃からアニメで見たロボットに惹かれていて、大きいロボットが器用に動くのが楽しそうで、その頃から自分でも作ってみたいと考えていました。工学部を選んだのも、細かな分野に分かれるロボット技術に専門的にかかわりたいと思ったからです。1年生では、金属元素・合金の話や構造材料のことを取りあげた「材料工学」の授業が面白かったですね。自分では、ロボットの外枠や骨組みに使われる構造材料を作りたいと思っているので、この授業はそれらの話題が多く、とても興味深く聴きました。

まだどの研究室が何に詳しく取り組んでいるのかわからないので、これからですが、将来はロボットを作る研究所とかに入りたいですね。

中学の頃から自分もやってみたいと思っていたチアリーダーに、東北学院大学に来て初めて入りました。野球、アメフト、アイスホッケーの試合などに出かけます。応援できて、なおかつ自分も元気づけられて、すごく楽しい、それがチアリーダーの魅了ですね。昨年の仙台六大学野球では、強豪・東北福祉大学に勝った試合があって、それはうれしかったですね。福祉大学戦は選手たちも粘りますから、攻めの時間も長く、チアリーダーの応援はもう倒れたいと思うほど。でも、一緒に試合をやっている感覚になり、星さん(今年から巨人入団)も負けたくないんだらうというのが伝わってきて、頑張れる、いい体験でした。

4月の入学式では、私たちも出演させていただいて踊ります。その時に、体をポンと跳ね上げるバスケットトスの大技を披露できるよう、今、特訓中なんです。

### チアリーダーで頑張っています

経済学科 3年

**渡邊 明 美**さん

(宮城県常盤木学園高校出身)



### 次の目標は、公務員!

経済学科 4年

**千葉 健太郎**さん

(岩手県立一関第一高校出身)

昨年の12月下旬に、山口県の山口大学で開催された全日本学生経済ゼミナールに、関谷登ゼミのゼミ生14人全員と参加してきました。法政大学、三重大学の学生たちと、平成不況から好況にするにはどうしたらいいか、これから良い社会にするにはどうしたらいいかを共通テーマとして討論してきました。自分たちが発表したのは、不良債権処理についてです。初日は緊張しましたが、2日目はリラックスでき、いい勉強になりました。

これからは、いよいよ就職活動です。希望は公務員一本。ますます少子高齢化で、医療や介護など福祉のニーズが大きくなる中、3、40年経てば今度は自分の問題にもなる。だから、自分が活発に動ける時期に、問題にあたりたいというか、福祉の充実を図るためにも必要とされる人間、公務員になりたいのです。

# 教育と研究の世界

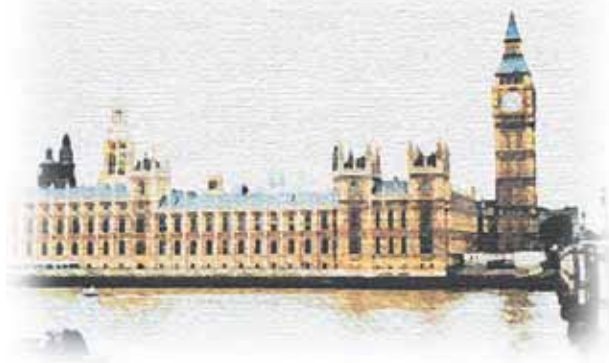


## 感性で読む イギリス小説

文学部英文学科講師  
横内 一雄

本学ではイギリス小説を中心に教えています。小説というとただの娯楽読物と思われるかもしれませんが、そこにはそれぞれの時代や社会の文化・欲望・感性などが刻印されています。したがって過去三世紀のイギリス小説を読むことは、今ここにいる私たちとは異なる感性と出会うことであり、そこには越えがたい溝や、時には思いがけない共感が待ち受けているものです。

私が学生に身につけてもらいたいのは、異なる感性と出会った時のちょっとした違和感や共感を疎かにせず、よく見つめて言語化する能力です。もっともいくら英語が好きで大学に入った学生でも、分厚いイギリス小説を原語で読んでその一つ一つの局面に自らの感性で反応することは容易ではありません。大量の英文からとりあえず必要な情報を引き出すことが彼らの当面の課題になりますが、文学のいいところはそうした試練の先に必ず報いがあることです。昨年もある授業の最終回で、一年かけて読んできた長編小説の結末にさしかかったとき、思わずすすり泣きを始めてしまった学生がいましたが、それは英文400ページの内容にその人の感性が素直に反応した瞬間でした。





## 社会保障を 学ぶということ

経済学部経済学科助教授  
熊沢由美

社会保障について学ぶということは、身近にある制度について知ることです。公的年金や医療保険のほか、アルバイト中の学生にも労働者災害補償保険（労災保険）が適用されます。こうした社会保障制度は、本来は安心感を与えてくれるはずのものです。現実には、むしろ漠然とした不安を感じさせられることのほうが多いのではないのでしょうか。そこで、まずは現在の制度をよく知ることが重要だと考えています。

しかし、学生の皆さんに学んでほしいことは、制度を活用するための知識だけではありません。そもそも自己利益を追求する資本主義社会に、なぜ社会保障が必要なのか、その意味を考えていただきたいと思っています。

私自身は、社会保障の制度史を研究しています。制度の制定過程や実施状況を明らかにし、意義づけをするものです。の中で思うのは社会保障の「社会」の意味、つまり、私たちは多様な他者に囲まれた社会に暮らしていること、その中での国家の役割についてです。さまざまな制度改革が行われようとしている現在、学生の皆さんには、自らの問題として関心を持つだけでなく、社会保障制度があることの意味を考えてほしいと思っています。



# 相手の立場に立つ視点

## 会津若松市 収入役 芳賀 公平 氏

昭和41年文経学部経済学科卒業後、福島県会津若松市役所に勤務。福祉事務所を振り出しに、秘書課長、総務部長等を経て、現在、収入役。さらに広域市町村整備組合（消防関係）、広域事業組合（ごみ、し尿関係）の収入役も兼務。昨年合併した旧北会津村との魅力と豊かな資源を融合させ「会津ブランドをいかした元気なまちづくり」に一層力を入れたいと意欲的だ。

— 昨年はNHK大河ドラマ「新選組！」の放映、新千円札には野口英世の登場と、会津地方が話題を集めました。会津若松市収入役という要職におられる芳賀さんにとっては、反響や喜びも大きかったのではないのでしょうか。

お陰様で昨年はさらに当市で伝統的工芸品全国大会も開かれたこともあり、7年振りに300万人を超す当市への入込額がありました。県内には蒲生氏郷の時代からの伝統産業である会津漆器、大堀相馬焼、本郷焼と3つの伝統工芸品がありますが、今回これに奥会津の編み込み細工が伝統的工芸品として、認定を受けたのです。

歴史、文化、自然景観に恵まれ、名所旧跡も多い観光都市だと自負しておりますが、今年7・8・9月はJR6社による大型観光キャンペーン「福島県あいつステーションキャンペーン」も予定され、これまでの県単位でなく、初めてあいつ地域限定で売り出すということで、大いに期待しているところで。

— 仙台へは昭和37年の経済学科入学を機に来られたようですが、学生時代、印象に残る思い出は何ですか。

陸上競技部で体中汗した思い出ですね。私は中長距離を専門としていました。当時、陸上部部長で黒沢直次郎先生のもと冬合宿は金華山。中長距離選手は毎日、島を一周をするわけです。部員同志の連帯感や人間関係、更には走っている時よりも、終わった後の爽快さや満足感というか、青春時代に熱中するものがあつたというのが、私にとっての財産だと思います。いざとなれば、絶対負けないという根性も養われました。昭和40年代の陸上部は、ほとんど上位は東北学院で占めていました。

— 卒業後はすぐ、こちらの会津若松市役所に就職されたのですか。

はい。父親は会津出身で私は長男。この様

なことを入庁しました。地方自治体も定年制がありますので、私が市役所で最年長。というのは、特別職は任期がありますから、60歳定年を越しても籍を置いている。今、62歳です。

— その収入役とは、どのような仕事なのでしょう。普通の人では見られない高額の現金を目にすることもあるのですか。

収入役は現金の出納事務が主ですが、間違いのない支出か、適性な支出かをチェックすること、適正な資金運用です。扱う金額は、市全体でいえば約900億円です。例えば、学校建築等で、億単位の金額が一度に支出されることもあります。ただし昔と違って現金を動かすのではなく、口座振替や小切手による支払いですので、想像のような現金を目にすることはありません。

公金ですから、一円たりとも間違いは許されません。この4月からペイオフが全面解禁になりますので、金融機関が健全性を保っているかなど、色々な場面にどう対応するか、立場上、判断業務が主だと思います。

— これまでの仕事を継続される中で、芳賀さんの原動力になっているものは何ですか。

私は23歳で採用されて、最初に配属されたのが福祉事務所です。24歳でケースワーカーを担当させられました。ケースワーカーというのは、生活保護世帯の自立助長に向けて色々生活指導をするのですが、その社会生活を営んでいる人たちに色々接しました。この仕事を6年やった中で感じたのは、「相手の痛みをわかる心」が大切です。学院での宗教学や礼拝でキリスト教の精神に触れていたもので、自然に受け入れることができました。市役所というのは、相手の立場に立ったものの見方が必要だと学んだ気がしますし、今思うと、原点は大学で学んだことだったと思います。

— 最後に、在学生へのメッセージをお願いします。

勉強も大切ですが打ち込むものを一つ自分自身で選択し、一生懸命やってみること。もう一つは、心身ともに健康な体をつくる必要があると思います。この事によって、生涯の財産として得るものを必ず見出しせるはず。大学は人間形成の場でもあり、人間的なつながりを深められる場です。人間としてあるべき姿を育てるために、先生方にも大いに力を入れてほしいと思います。



## 本学における改革の特徴と 各学部のカリキュラムの多様化

学務部長 井上 義比古

国の「大学設置基準」が緩やかになって以降、本学は他の大学と同様に、大学全体と各学部・学科の両方で、積極的に改革をすすめてきました。その方向を大まかに言えば、①時代に即した学習内容を大幅に取り入れる、②学習の仕組みを柔軟化する、と要約できると思います。

2つの方向のうち、①にあたるのが、1990年代半ばから続いているカリキュラムの改革と学部・学科の改組・転換です。既に経済学部商学科は経営学科へ改組されましたし、今年度には、文学部史学科が歴史学科へ、教養学部の各専攻が学科へと改組転換されたほか、地方分権改革の動きに対応した地域構想学科が新設されました。そして来年度には、工学部の各学科が学問の最新の動向に対応して、より根本的に再編成されるほか、司法改革の一環として制度化された法科大学院との役割分担が必要になる法学部も、来年度に大幅なカリキュラムの改定を行う予定です。

これらの大きな改革によって科目の構成が大きく変わるだけでなく、改革の②の方向をも反映して、キリスト教精神に基づく教育という大学全体としての統一性は保ちつつも、各学部・学科の独自性が強まりました。大学全体に対する期待のみならず、それぞれの学部・学科の専門分野に対する社会からの期待が急激に変わりつつあるからです。

その結果、いわゆる「教養科目」の構成が学部ごとに違っていき、科目の履修方法や進級の仕組みなども、以

前に比べて大きく異なってきているのです。例えば、年間の科目登録の上限を定めている学部と定めていない学部がありますし、日本技術者教育認定制度の基準を重視する工学部では学年ごとに進級条件があるのに対して、法科大学院進学への対応を重視する法学部の新カリキュラムでは、逆に進級条件がなくなる予定です。

上記のように、本学のカリキュラムは、全学的な一定の枠の中で、各学部・学科の積極的な工夫を認める方式をとっている結果、カリキュラムの多様化が進みました。ある学部には存在する仕組みが、他の学部にはない、ということもあるわけです。他方、過度の多様化を防ぎ、学生の学習意欲を尊重するため、所属学部・学科以外の学部・学科の科目、さらには他の大学の科目をも、自由に勉強できるようにしました。

本学の継続的な改革ともなうカリキュラムの多様化のメリットを、積極的に評価していただければ幸いです。

## 東北学院大学の奨学金制度

学生部長 樋渡 滋

東北学院大学の学生が利用できる奨学金制度についてご説明いたします。これらの事項は、後援会資料や学生に配布される「学生生活」の中に詳しく記載されていますので、ここでは要点のみをお話します。

### 1. 東北学院大学独自の奨学金制度

#### ① 東北学院大学奨学会奨学金（無利子貸与）

単年度の奨学生で年度ごとに応募するものです。金額は授業料の約80%で、定員は約130名です。

#### ② 東北学院大学夜間主コース奨学金（給付）

社会人学生に対する奨学金で、返還の必要はありません。金額は30万円です。社会人特別入試による入学者を対象とする第1種と入学後に手続きする第2種とがあり、資格審査を経て4年間給付を受けることができます。社会人学生の選考基準を満たせば、ほぼ全員が受給できます。

#### ③ 入学時・学費ローン制度

学納金の納入が困難な学生を支援するために指定金融機関から融資を受けられる制度です。入学予定者や在学学生に適用され、その際、在学中の利子を大学が肩代わり（給付）する学費ローン利子給付奨学金制度を利用することができます。人数の制限はありません。

#### ④ 緊急奨学金制度（無利子貸与）

家計支持者の死亡・疾病・失業、あるいは災害などで家計が急変し、修学の継続が困難になった学生を救済するための制度です。随時申し込むことができます。なお、この緊急

奨学金の一部は後援会から助成をいただいております。

#### ⑤ キリスト教学科奨学金（無利子貸与）

キリスト教学科全学年対象で授業料の全額または一部が貸与されます。貸与期間は採用された年の1年間で、次年度も希望する場合は新たに応募することになります。

### 2. 日本学生支援機構（旧：日本育英会）奨学金

定額ですが、無利子の第1種奨学金と有利子（在学中は無利子）で貸与額を選べる第2種奨学金があります。貸与開始月から卒業まで継続されます。平成16年度の累計採用者は、第1種と第2種合わせて約1,200名でした。

### 3. その他の奨学金制度

地方公共団体や各種育英団体・奨学金財団の奨学金制度があり、詳しくは学内掲示板に掲示いたします。

以上のように、本学では充実した奨学金制度を設け、多くの学生が勉学に専念できるよう配慮しております。なお、これらの奨学金制度は大学院生にも準用されています。各奨学金に関するお問い合わせは、学生課厚生係（TEL.022-264-6472）までお願いいたします

G R O W T H

## 就職部より

### 就職への道のり

— まず一步、結果はそれの積み重ね —

就職部長 高橋 彌 穂  
やす お

ご父母の皆さまもすでにご承知のように、昨今の学生の就職環境は大変厳しい実情です。そしてそれは、私たち就職部のスタッフ一同も日ごろ痛切に感じております。企業・公務員の採用担当者によれば、求人はしているが、今は大変な「求人難である」と言います。これは一体何を意味すると思われますか？ そうです、それだけ採用側の求める人材は厳選されており、レベルが高くなっているということです。

このような厳しい状況下で、自分の希望する職種や企業に就職できるのは、仕事の内容や相手の企業に関する知識はもとより、仕事そのものに対する明確な意志と情熱を持つことが絶対不可欠であり、そのためにもできるだけ早い時期に自分と真摯に向き合い、将来の進むべき道をおおまかにでも見いだしておくことが求められます。これがまず第一歩です。結果はそれの積み重ねです。どうかこの点を踏まえ、ご家庭においても充分に話し合い、確認していただきたいと思います。

幸いなことに、この度の後援会総会では、学生の就職に少しでも役立つことができるように、学生の就職を考えるセミナー「親は子供の究極のサポーター」を後援会主催、就職部共催で開催いたします。講師は、キャリアサポートのエキスパート、埼玉県ワークシェアリング就職採用担当キャリアカウンセラーの小島貴子氏です。どうぞ、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

#### ●問い合わせ先

土樋キャンパス就職課

TEL.022-264-6481 / FAX.022-264-6486

多賀城キャンパス就職係

TEL.022-368-1101 / FAX.022-368-1118

泉キャンパス就職係

TEL.022-375-1161 / FAX.022-375-1534



# 教育研究振興資金募集のお願い

学校法人東北学院では、平成16年4月1日から平成21年3月31日の期間、次の事業の完遂に向けて教育研究振興資金を募集しております。広く皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 【募金目標額20億円】

- 1.東北学院大学キャンパス整備
- 2.東北学院中学校高等学校校舎建設
- 3.東北学院榴ヶ岡高等学校体育館および管理棟建設
- 4.東北学院会館(仮称)建設
- 5.東北学院育英奨学基金の増額

詳しくは、  
東北学院法人事務局財務部会計課まで  
お問い合わせください。

〒980-8511  
仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL.022-264-6467  
FAX.022-264-6510

## 東北学院大学

### 土樋キャンパス

大学院:文学研究科、経済学研究科、  
法学研究科、法務研究科  
学 部:文学部・経済学部・法学部(各3・4年)、  
夜間主コース  
〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL.022-264-6411(総務課)  
FAX.022-264-3030( // )

### 多賀城キャンパス

大学院:工学研究科  
学 部:工学部  
〒985-8537多賀城市中央1-13-1  
TEL.022-368-1116(総務課)  
FAX.022-368-7070( // )

### 泉キャンパス

大学院:人間情報学研究科  
学 部:文学部・経済学部・法学部(各1・2年)、  
教養学部  
〒981-3193仙台市泉区天神沢2-1-1  
TEL.022-375-1121(総務課)  
FAX.022-375-4040( // )

## 東北学院大学後援会通信 GROWTH(グロース) vol.6

本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。  
発行日は4月と10月です。

発行日 平成17(2005)年4月  
編 集 東北学院大学後援会事務局  
(総務部調査企画課)  
発 行 東北学院大学後援会  
〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL.022-264-6424  
FAX.022-264-6364  
E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp  
URL http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/

印 刷 ハリウコミュニケーションズ株式会社

本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて  
本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

## ORGANIZATION 教学組織図

平成17(2005)年4月1日現在

